

土砂災害への意識と準備～早めの避難を～

近年では、台風や大雨に伴う「土砂災害」が多く発生しています。傾斜地などは、台風や大雨などが引き金となって、がけ崩れや地すべり、土石流などによる土砂災害が発生しやすい環境です。土砂災害から身を守るためには、私たち一人ひとりが土砂災害に対して日頃から備えておくことが重要です。

 危機管理課（千代田庁舎）



Q1 土砂災害の危険性がある区域とは？

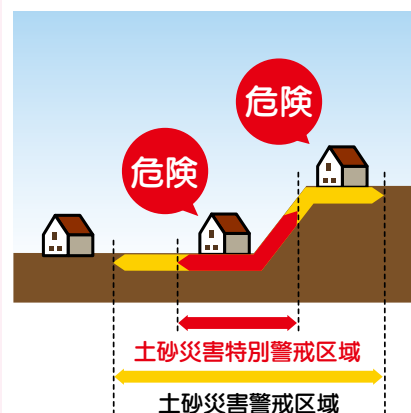
雨などの影響により、がけが崩れたり、地すべりしたり、土や石、砂が一気に流れ出す、土砂災害の危険性がある区域は、土砂災害防止法に基づき、茨城県が「**土砂災害警戒区域**」として指定します。土砂災害は、一瞬にして尊い生命や家屋などの貴重な財産を奪うなど、甚大な被害をもたらすため、区域を指定することにより、注意を呼び掛けている。

土砂災害警戒区域（通称：イエローゾーン）

土砂災害が発生した場合に、住民などの生命または身体に**危害が生ずるおそれがある**と認められる区域。

土砂災害特別警戒区域（通称：レッドゾーン）

土砂災害が発生した場合に、建築物に損壊が生じ住民などの生命または身体に**著しい危害が生ずるおそれがある**と認められる区域。



Q2 「土砂災害警戒区域」の指定箇所は、どう調べれば？

土砂災害の危険性がある「土砂災害警戒区域」の指定箇所は、市総合防災マップやホームページで確認することができます。

災害が目の前に迫った状態では、冷静に判断できないことが想定されますので、普段から自分の家がこれらの土砂災害の危険性がある箇所に指定されているかを確認しておくことがとても重要です。

※ ただし、土砂災害警戒区域に指定されていない箇所でも、土砂災害が発生する場合があります。付近に「がけ地」や「小さな沢」などがある場合は、注意してください。



市ホームページ

かすみがうら市総合防災マップ 検索



かすみがうら市総合防災マップ

※ 総合防災マップをお持ちでない方や紛失してしまった方は、危機管理課までお問い合わせください。

Q3 雨が降り出したらどう注意すれば？

雨が降り出したら、「**土砂災害警戒情報**」に注意しましょう。この情報は、大雨による土砂災害発生の危険度が高まったときに、市が避難指示を発令する際の判断や住民の自主避難の参考となるよう、都道府県と気象庁が共同で発表する「**防災情報**」です。これは、**警戒レベル4 避難指示（全員避難）相当の情報**であり、市が避難指示を発令する目安となる情報で、災害の切迫度が高まっていることを示しています。



土砂災害警戒情報が発表されたら、市からの避難指示の発令（警戒レベル4）に注意しながら、避難指示が発令されていなくても、家族や地域内の方々に声を掛け合い、早めに近くの親戚や知人宅などの安全な場所や避難所に避難しましょう。



気象庁



市メールマガジン



県メールマガジン

▼ 情報収集が重要

土砂災害警戒情報は、市防災行政無線の放送や気象庁、テレビ、ラジオなどの気象情報でも発表されます。また、市や県では、防災情報などの緊急情報を**メールマガジン**にて配信しています。登録しておくことで、情報を収集することができます。

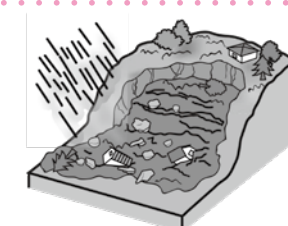
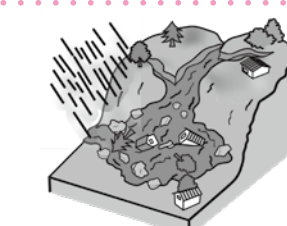
※防災行政無線の放送内容は、**0800-800-3674**（通話無料）から確認することができます。

※大雨による電波障害や停電など、いざというときのために携帯ラジオも役立ちます。

▼ 土砂災害の前兆現象にも注意

土砂災害を発生させる現象には、主に**がけ崩れ**、**地すべり**、**土石流**があり、これらの発生は、何らかの前兆現象があります。前兆現象に気付いたら、周囲に声を掛け、いち早く安全な場所に避難することが大事です。

● 土砂災害の種類と主な前兆現象

	がけ崩れ	地すべり	土石流
特徴	斜面の地表に近い部分が、雨水の浸透や地震などで緩み、突然、崩落する現象。崩落までの時間が短いため、人家の近くでは逃げ遅れも発生し、人命を奪うことが多い。	斜面の一部あるいは全部が、地下水の影響と重力によってゆっくりと斜面下方に移動する現象。土塊の移動量が大きいため、甚大な被害が発生する。	山腹や川底の石、土砂が、長雨や集中豪雨などによって一気に下流へと押し流される現象。時速20～40キロメートルの速度で一瞬のうちに人家や畑などを壊滅させてしまうことも。
主な前兆現象	◎地鳴りがする ◎がけにひび割れができる ◎がけから水が湧き出る ◎小石がパラパラと落ちてくる ◎湧き水が止まる・濁る	◎地鳴り・山鳴りがする ◎亀裂や段差が発生する ◎樹木が傾く ◎地面がひび割れ・陥没 ◎井戸や沢の水が濁る ◎がけや斜面から水が噴き出す	◎山鳴りがする ◎立木が裂ける音や石がぶつかり合う音が聞こえる ◎腐った土の匂いがする ◎川の水が濁る
土砂災害			

Q4 避難のポイントとは？

災害が発生するおそれがある場合は、台風や大雨の予測や気象庁などから発表された注意報などの情報を収集し、避難場所や避難経路の確認や持ち物など避難の準備をしておきましょう。また、避難指示などが発令された際は、速やかに避難行動に移りましょう。

コロナ禍の現状では、**避難所の密集を避けるため、安全な親戚や知人宅などに避難することも重要**となりますので、普段から連絡を取り合っておきましょう。



避難方法の確認

